

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第3区分  
【発行日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【公開番号】特開2006-8771(P2006-8771A)  
【公開日】平成18年1月12日(2006.1.12)  
【年通号数】公開・登録公報2006-002  
【出願番号】特願2004-185073(P2004-185073)

【国際特許分類】

C 08 L 83/07 (2006.01)  
C 08 K 3/00 (2006.01)  
C 08 L 83/05 (2006.01)

【F I】

C 08 L 83/07  
C 08 K 3/00  
C 08 L 83/05

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月12日(2007.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

以下、本発明を実施例により詳細に説明する。なお、実施例と比較例中、部は重量部を意味する。粘度は25における値である。重量平均分子量は、ゲルパーセンクロマトグラフィーにより測定し標準ポリスチレン換算して求めた値である。硬化性シリコーンレジン組成物の硬化物の硬さは、JIS K 7215-1986「プラスチックのデュロメータ硬さ試験方法」に従ってタイプDデュロメータにより測定した。シリコーンゴム組成物の硬化物の硬さは、JIS K 6253-1993「硬さ試験方法」に従ってタイプAデュロメータにより測定した。Phはフェニル基、Meはメチル基、Viはビニル基を意味する。一体化成形体のシリコーンレジンは硬化性シリコーンレジン組成物の硬化物を意味し、シリコーンゴムはシリコーンゴム組成物の硬化物を意味する。